



若い人が魅力を感じる業界に——と述べる葭原会長
＝鹿児島市のジェイドガーデンパレスで



木村雄一新支部長

新支部長に木村氏

県豊工業組合鹿児島支部総会

平成15年度鹿児島県工業組合鹿児島支部総会



新年度予算等を審議した総会
＝鹿児島市のパレスイン鹿児島で

木村雄一氏（株木村量店）
増田支部長に就任後、物故者に対し黙とうを捧げた後、増田支部長が「中央や大手企業においては景気回復の兆しがあるが、量販界においては景気の表裏急が減少するなど、消費者の離れれなども含め需要が減っている。そのような背景のもと、量の良などを含めた性能・機能などを明確に説明できるように

・製品履歴が必要になったり、量販に關しては商品
・品質の良い商品を使用しあたり前
・のことは消費者に分かり
・やすく理解させていくこ
・とが今後の生き残りにつ
・ながる」と挨拶。次に、
事務局の引き継ぎが行わ
れ、13年の長きに渡り事
務局を任された村尾美智

子氏に記念品と花束を贈呈し、新しい事務局長は、才口良子氏が引き継いだ。このあと、西郷雄一理事を議長に選出し、審議に事入る。15年度決算報告並びに16年度収支予算案などの議案を審議し、在結果執行部原案通り承認した。また、役員改選では出席者による選挙で新支部長に木村氏を選出した。木村氏は「皆さんの声を聞くために、も地区会を行い、皆さんのご指導のもとに充実した会にしたい」と抱負を語った。

新役員は次の通り。

支部長・木村雄一▽理事
事・園田寛（南園田タ
ミ店）並松初（南並松タ
タミ店）東初男（南東豊
商店）増田勇（南増田豊
商店）福島幸生（南福島
商店）小田正弘（南小田
豊商店）▽監事・野呂豊
（南野呂豊店）平峯耕一
（南平峯豊商店）

葭原日夕煉会長が講演

下水道の啓発活動

子供たちに

大崎町下水道連絡協議会（萩原洋一会長、27世）は「下水道の日」の10日、曾於郡大崎町益丸にある水処理施設の大崎クリーンセンターで施設研修を行うとともに、下水道に

る需要の掘り起こしは必要不可欠である」と厳し

下水道の啓発活動等

子供たちにきれいな

活動等
きれいな川を
大連 町協 下金 達金
大連 町協 下金 達金

対する理解と関心を深めて
もらうことを目的に未
接続者への個別訪問を実
施した。

大崎クリーンセンター
に集合した参加者を前に

学会
を



写真に納まる参加者
＝大崎町の大崎クリーンセンターで

指宿土木、高齢者現場見学会
公共事業に理解を

に、町役場関係者と戸別訪問を行い啓発活動のキャンペーンを実施した。昨年供用開始された区域の状況は、約9割の世帯が稼働済みで現在約800戸の世帯が下水道を利用している。

東嶺弘大崎町長が「16・18号台風での災害復旧に迅速な活動に感謝します。わが町は、他の町にない高い普及率を持っています。今後、環境の向上や河川の浄化に役立つ下水道事業に協力をお願いします」と挨拶。萩原会長も「台風災害復旧作業も地域に貢献できたと思つて、日本一きれいな川を取り戻し子供たちへ引き継いでいきますよ」と述べた。

参加者は、昨年3月に「供用開始した大崎クリーンセンター」で施設の説明



事業概要説明等に聴き入る参加者＝
の指宿鹿兒島インター線・島久保工

市で

建築とガスを語る
講演等について
日本ガス(株) (中間業市
社長) は10日、鹿児島市
の鹿児島サンロイヤルホ
テルで2004建築とガス
を語る集いを開き、宮崎
公序、建築・設備・設計
業界の関係者ら約500人

講演等に500人出席

建築とガスを語る集い

田公民館から43人が参加。
指宿鹿兒島インタン・線
(鹿児島区)と令和県



講演に聴き入る出席者
＝鹿児島市の鹿兒島インタン

なる集い
500人出席
 日本ガス

人が出席し、ガスによる
 マイホーム発電システム
 などについて学んだ。
 会の初めは、中国社
 が「天然ガスは、国の真
 粋エネルギーの一つとし
 て位置付けられており、

イヤルホテルで

野島勉氏が「マイホーム発電 エコウ特」で講演、同商品の特長などについて説明を行ったほか、マユゲの野島、さんで有名な野崎靖博氏（日刊スポーツ新聞社編集委員）が「野球界は今後どうなるのか」と題して、球団合併問題などについて講演した。

その普及拡大は環境保全の立場から、都市ガス供給事業者としての社会的使命と考へています。こうした役割に応えるべく民生需要の需品拡販をはじめ、ガス・コージェネレーション、天然ガス自動車等の普及促進に取り組む、地域社会に對してその責任を果たしていきたい」と挨拶した後、来賓の加藤憲一（国土建設大臣）宮修一（興業部長）長（宮修一）東工本部長（宮修一）が祝辞を述べ、その言葉を寄せた。

引き続き、同社リビングガステクニーク課長の松

内を見学した。同日の早朝、指宿合同庁舎前に集り込みした参加者へバスに乗り込み目的地へ出発。移動中の車内では、御供田勉技術士幹兼道路建設部長らが、街路事業・養護通称や特定交通安全施設整備事業、下田養護工務所「下牧通工区」の工事概要を説明した。最初の視察地である指宿臨海工業団地（富久保工区）の現場では、御供田部長が事業の目的は開闢していきたい」とつていた。

このあと、一行は令和泉港遊を訪れ、福永省三河川港湾説明から事業概要等の説明を受けた後、県水産技術開発センターに移動、施設等を見学して見学会は無事終了した。

奥村弘次長兼道路建設課長は、「今回、高齢者を対象とした現場見学会を初めて開催したが、参加者の反応も良く、十分理解したのではないかな。今後、機会があれば開闢していきたい」と